

令和6年度 東京都小学校体育研究会 実証授業 多様な動きをつくる運動（遊び）領域部会

東京都小学校体育研究会 研究主題

「自ら学び続ける力を、仲間と共に身に付けていく体育学習」
～運動の楽しさや課題解決の喜びを味わうことを通して～



【指導・講評】

西東京市教育委員会 指導主事
田邨 佳宏 先生

【実証授業】

授業日 令和6年11月19日（火）
場 所 足立区立千寿双葉小学校
最寄駅 JR常磐線・東京メトロ千代田線
日比谷線・北千住駅徒歩15分
授 業 第2学年 体づくりの運動遊び
「多様な動きをつくる運動遊び」
授業者 山本 将司 教諭

多様部会のHPはこちらから↓



子供たちの現状と課題

学 習 指 導 要 領

社会の背景・要請

研究の成果と課題（令和5年度）

研究主題：互いに学び合い、自らの学びを深めていく体育学習

○成果

子供が多様な仲間と互いに学び合いながら子供自身が自らの学びをより一層深めていく学習過程やその手立てを示すことができた。

○課題

自立した学習者としての資質・能力を育てる視点に立ち、発達の段階に応じて全ての子供が楽しさや喜びを味わうことができるようにする体育学習の在り方について言及すること。

研究の充実・発展に向けて

体育科の特性を改めて問い直すとともに、子供自身が仲間と共に、自らの学びをより一層深めていけるよう、さらなる授業改善を推進する。

令和6年度 研究主題

自ら学び続ける力を、仲間と共に身に付けていく体育学習

— 運動の楽しさや課題解決の喜びを味わうことを通して —

研究の目的と方針

【研究の目的】

自立した学習者としての資質・能力を育てる視点に立ち、子供に委ねることと教師が導くことを明確化することや体育科の教科としての特性を改めて問い直し、全ての子供が楽しさや喜びを味わうことができる体育学習の在り方を追究する。

【研究の方針】

- これまでの研究成果を踏まえ、自ら学び続ける力を仲間と共に身に付けていくことができるようにするための手立てを、領域の特性に応じて工夫する。
- 各領域において、仲間と共に自ら学び続ける力を身に付ける学習について提言する。
- 各領域部会が研究主題を実現するために重点的に明らかにしたいことを「研究の重点」として設定する。
- 研究の成果を子供の姿で示す。

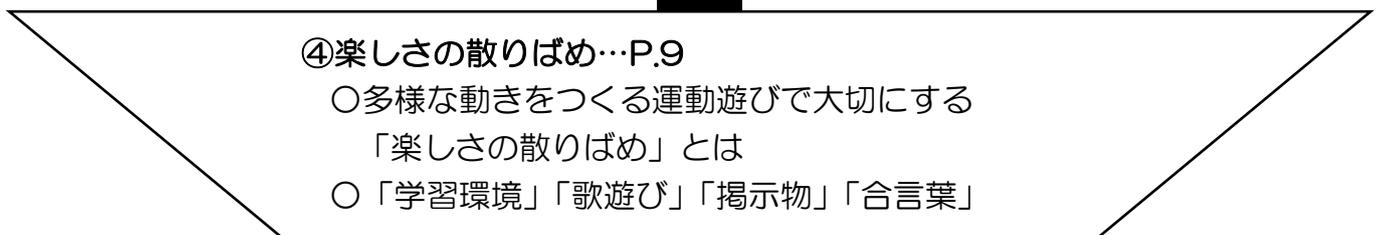
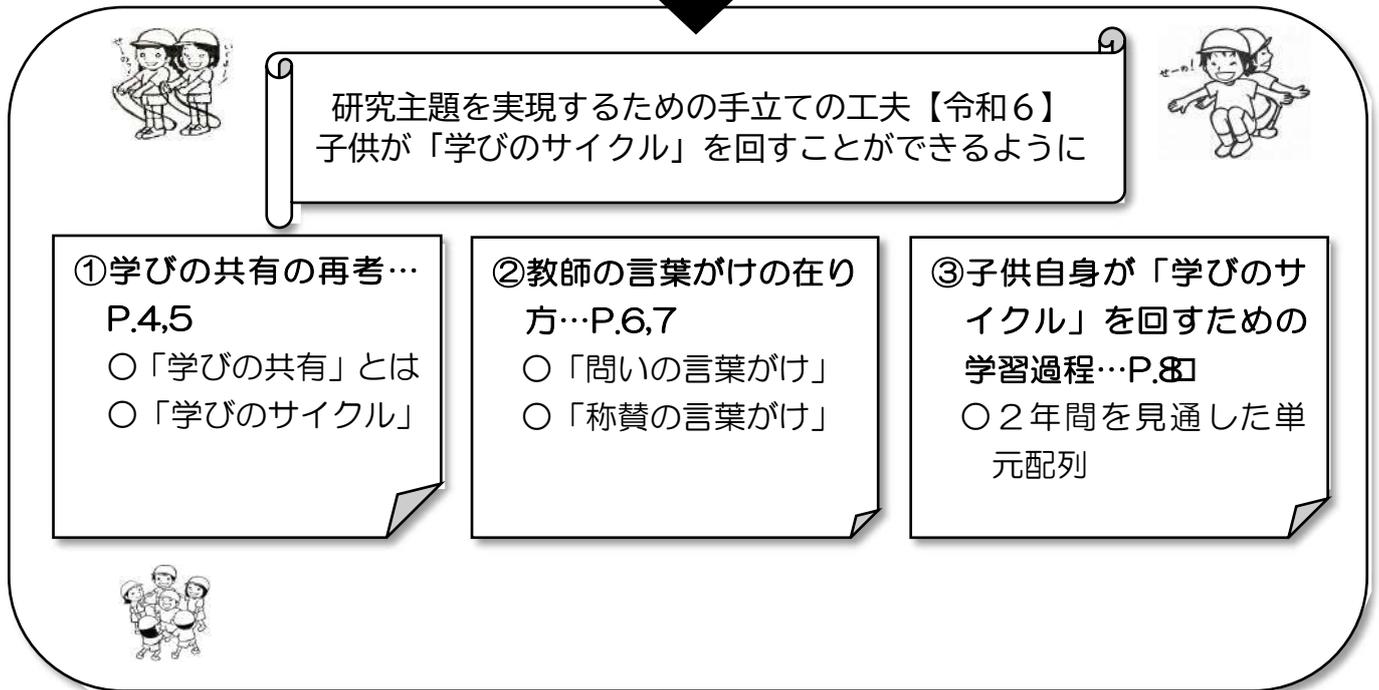
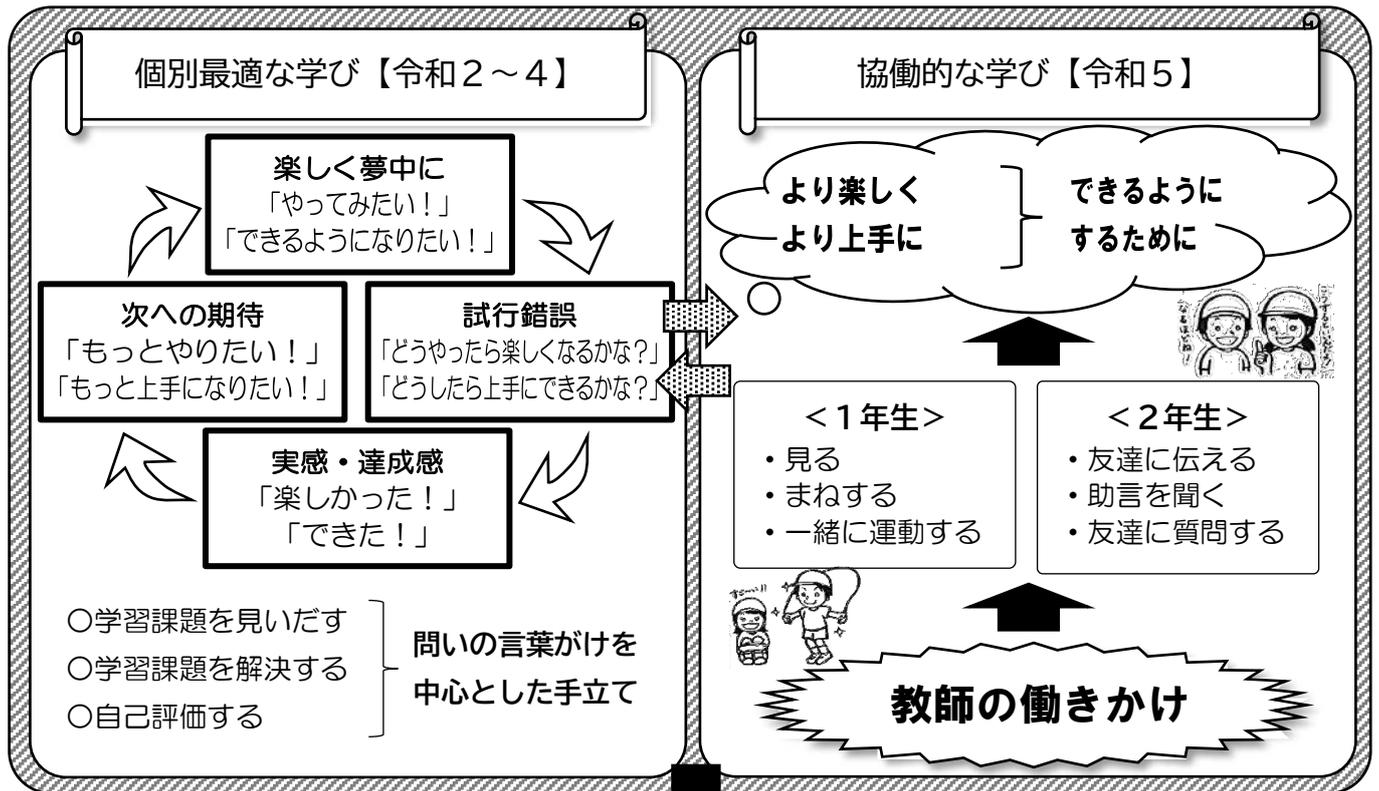
〈基礎研究・調査研究〉

- 学習指導要領や中教審答申等の資料を収集・分析し、共通の知見を得る。
- 児童の現状や課題、教師の実践等をアンケート調査等の実施でつかむ。

〈実践研究〉

部内授業及び実証授業を実施し、児童の変容や活動状況のデータを基に授業を評価し検証する。また、研究協力校等における実践研究報告を受け検証する。

夏季合同研究会・研究発表大会による研究の評価・検証



多様な動きをつくる運動（遊び）部会 実証授業

1 研究主題の実現に向けた部会の考え方

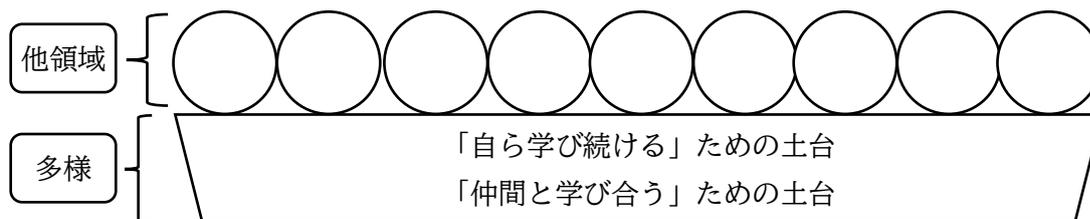
多様な動きをつくる運動（遊び）では、子供自身の「できた」を積み重ねられる特性がある。様々な基本的な体の動きを結果的に身に付けるためには、「学びのサイクル」を繰り返すことが大切である。そのために、運動遊びとの出会いを大切にするとともに、子供一人一人の「やってみたい」という思いを引き出し、試行錯誤する機会を保障することが必要となる。



「自ら学び続ける力」=「学びのサイクル」を繰り返すこと

「学びのサイクル」とは、子供が自己の課題に応じて、行い方や課題解決の方法を取捨選択し、自己調整しながら動きを増やしたり広げたりすることである。

また、多様な動きをつくる運動（遊び）だからこそできることとして、すべての運動遊びの土台となるため、低学年から多様な動きに楽しみながら取り組み、結果的に動きが身に付いていく学習を行っていく必要がある。



2 研究の重点

(1) 学びの共有の再考

本部会が提案してきた「学びを価値付ける時間」で積み上げてきた研究成果を生かし、「学びの共有」へとステップアップできるようにすること。

(2) 教師の言葉がけの在り方

「学びの共有」の再考に伴い、本部会が重点を置いて取り組んできた「問いの言葉がけ」についても、単元の中での取り扱いを再考していくこと。

(3) 子供自身が「学びのサイクル」を回すための学習過程

子供自身が「学びのサイクル」を回すことができるように、低学年の2年間を見通した学習過程を考え、子供が自己決定できるような「学び方の計画」を提案すること。

3 夏季合同研究会より

本部会が考えた手立てである子供自身が「学びのサイクル」を回すための学習過程については、多くの理解を得ることができた。しかし、「学びの共有」や「教師の言葉がけ」については、実証授業を通して手立てが有効だったかを明確に示す必要がある。子供一人一人の学びの変容を分析し、自ら学び続ける力を育むうえで、本部会が考えた手立てが有効であったか検証していく必要がある。合わせて、授業づくりで大切な「楽しさの散りばめ」についても提唱していく。

4 学習指導案

(1) 実証授業実施校等

足立区立千寿双葉小学校

第2学年2組 児童：30名 指導者：教諭 山本 将司

(2) 単元名 多様な動きをつくる運動遊び「ふたばスペースワールドで遊ぼう」

(3) 単元の目標

知識及び運動	多様な動きをつくる運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、体のバランスをとったり、移動をしたり、用具を操作したり、力試しをしたりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

(4) 単元の評価規準

知識・技能	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様な動きをつくる運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。 2 体のバランスをとる動きをして遊ぶことができる。 3 体を移動する動きをして遊ぶことができる。 4 用具を操作する動きをして遊ぶことができる。 5 力試しの動きをして遊ぶことができる。
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1 やってみたい運動遊びや、友達と一緒にいると楽しい運動遊びを選んでいる。 2 より楽しい運動遊びができるように、行い方を工夫したり、友達の動きを見て、よい動きを見付けたりしている。 3 動きのこつやポイント、楽しい運動遊びの行い方について、考えたり見つけたりしたことを友達に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 2 順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 3 用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 4 場や用具の使い方などの安全に気を付けている。

(5) 子供の実態

本学級の9割の子供は、体を動かすことに意欲的で前向きに運動に取り組んでいる。第1学年で学習した動きや行い方を生かして学習を進めている。8割の子供は、新しいことにチャレンジしたいと考えている。一方で、体の動かし方が雑になってしまう場合があったため、単元前半で動きのこつを確認した。7割の子供は、学習中に友達と運動しようとしていて、友達と行うことで安心感や達成感を感じている。中学年に向けて、友達と運動することの良さに気付けるように言葉がけを行っていく。運動遊びのゴールの姿として、遊びに夢中になりながらも、子供自身で繰り返し「学びのサイクル」を回すことができるように学習を進めていく。

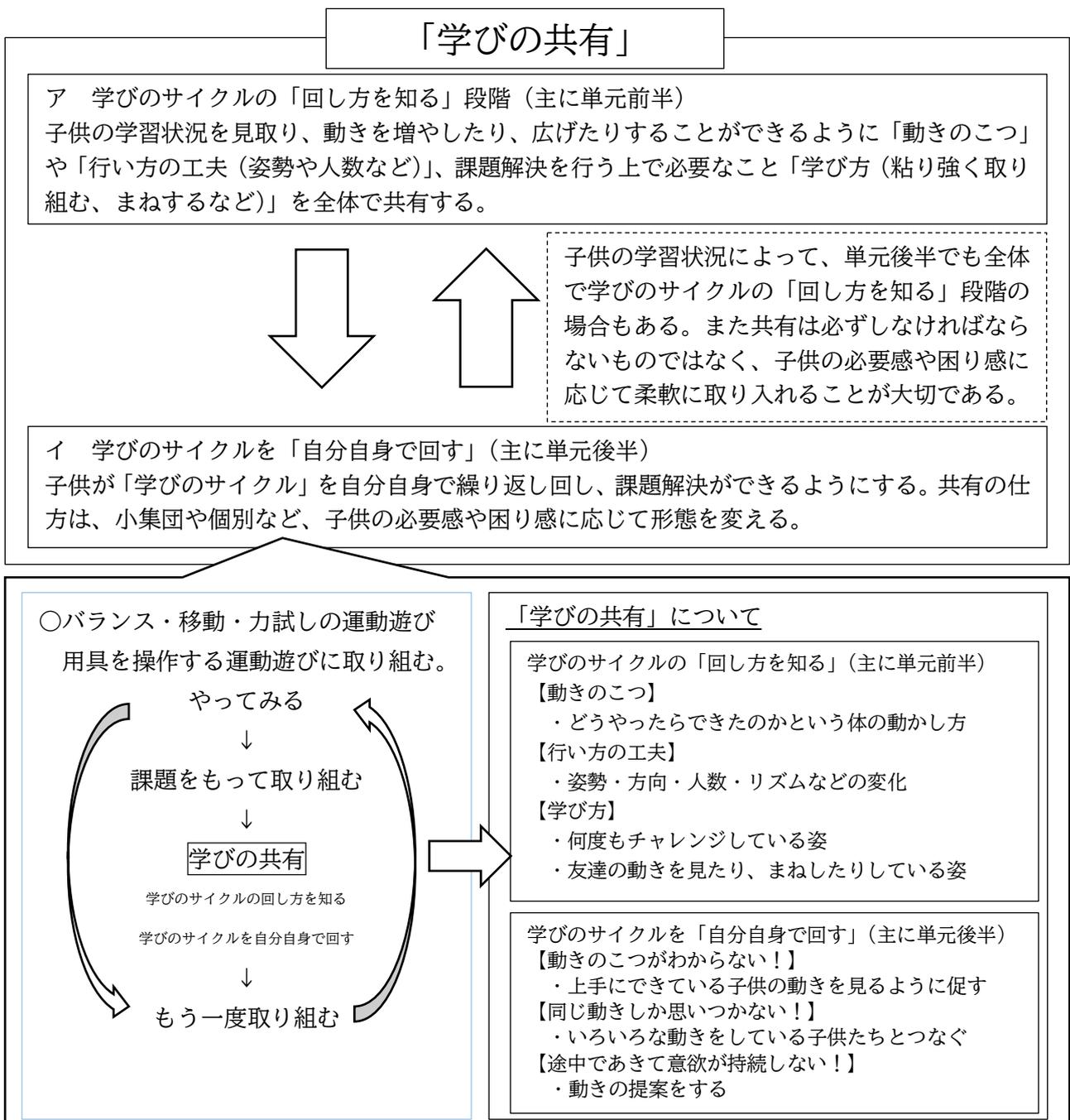
(6)研究主題を実現するための手立ての工夫

①学びの共有の再考

1) 「学びを価値付ける時間」から「学びの共有」へ

「学びを価値付ける時間」では、「動きのこつ」や「行い方の工夫」、「学び方（粘り強く取り組む、まねするなど）」を、教師が学習のねらいに応じて子供の姿で価値付けをしていた。しかし、価値付けたことが必ずしも子供の必要感や困り感と一致しているとはいえず、教師からの一方的な価値付けになってしまうところがあった。そこで、子供の学習状況や必要感に応じた共有にするために「学びを価値付ける時間」から「学びの共有」に変更した。本部会が考える「学びの共有」とは、子供が自ら「学びのサイクル」を回せるようにすることである。「学びの共有」には、「学びのサイクル」の「回し方を知る」段階と「学びのサイクル」の「自分自身で回す」段階で共有の仕方を変えて行う。

2) 「学びの共有」の考え方



3) 「学びのサイクル」を「自分自身で回す」ための教師の働きかけ

子供の学習状況や必要感、困り感によって、学びのサイクルの「回し方を知る」段階と学びのサイクルを「自分自身で回す」段階がある。

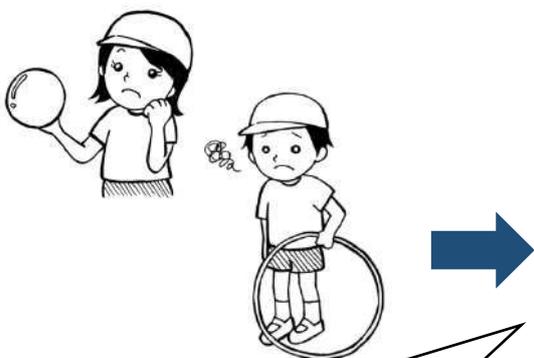
学びの共有の中での言葉がけについては、「②教師の言葉がけ」を参照。

ア 学びのサイクルを回せている子供



- 子供のやっていることを称賛する。
- 課題解決の仕方に困っている子のお手本とする。
- 学びの共有は必要ないが、個別の言葉がけは行う。

イ 学びのサイクルを回せていない子供



子供の学習状況を見取り、「学びのサイクル」の回し方が分かっていないなど感じた場合は、全体で「学びの共有」を行う。全体で共有の必要がなければ、子供の学習状況に応じて、小集団や個別などで「学びの共有」を行う。

- 「動きのこつがわからない！」
 - ・上手にできている子供の動きを見るように促す。
 - ・上手にできている子供と学べるように言葉がけを行う。
- 「同じ動きしか思いつかない！」
 - ・いろいろな動きをしている子供を見つけたり、つないだりする。
 - ・いろいろな動きをしている子供とつなぐ。
 - ・こだわって一つの動きに取り組んでいる場合は、無理に学びの共有を行わずに見守る。子供が助言を求めてきたときは学びの共有を行う。
- 「途中であきて意欲が持続しない！」
 - ・いろいろな動きをしている子供とつなぐ。
 - ・動きの提案をする。

子供の具体的な姿の共有については過去の資料「H31『価値付けガイド』」をご覧ください。



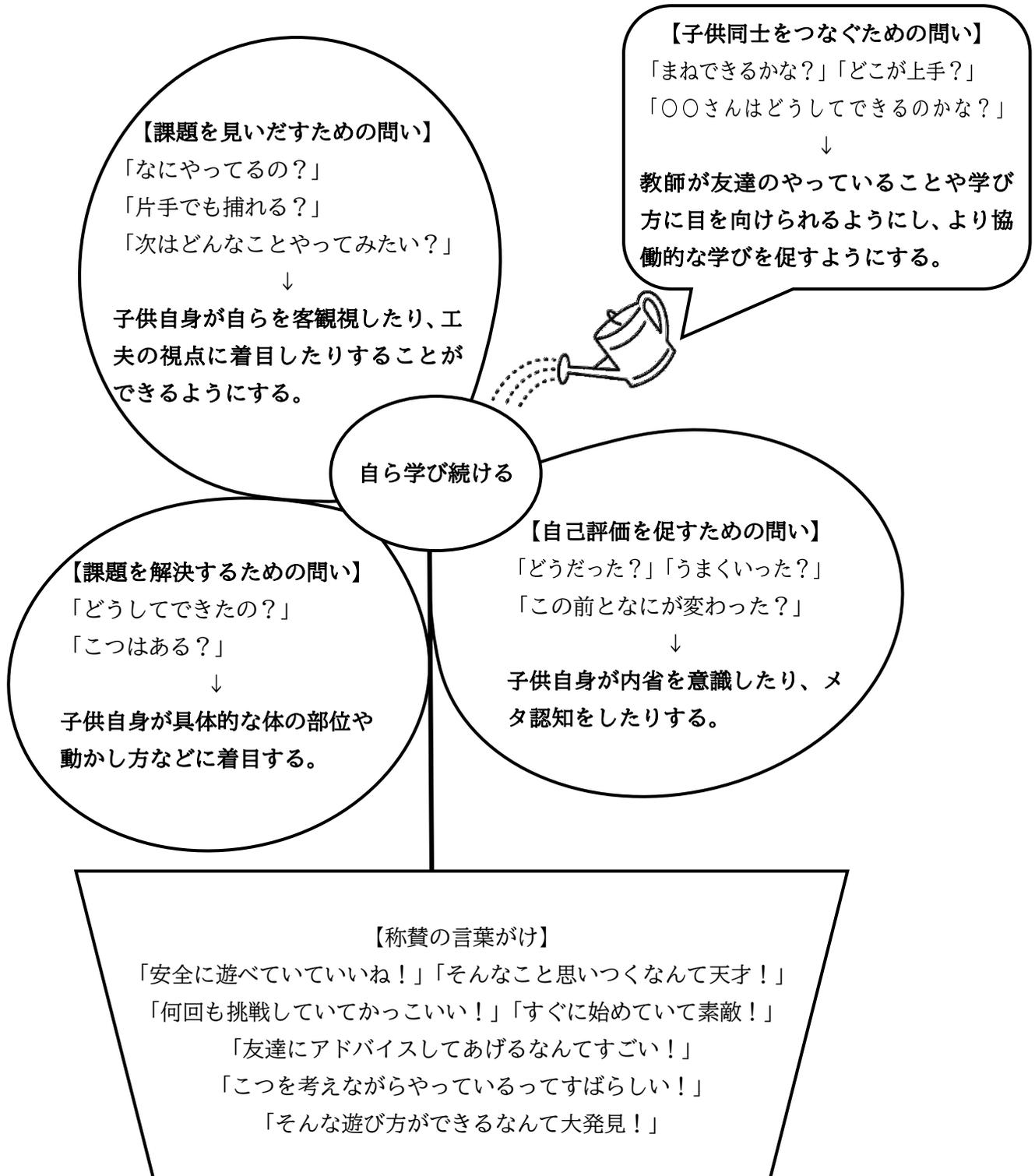
価値付けガイド
「動きのこつ・行
い方の工夫編」



価値付けガイド
「学び方編」

②教師の言葉がけ

本部会では、子供が試行錯誤しながら、自ら「学びのサイクル」を繰り返し回すことができるように、「問いの言葉がけ」を中心とした授業を展開している。この「問いの言葉がけ」に、本部会が授業の土台と考えている「称賛の言葉がけ」を加え、単元や一単位時間の中で手立てとして講じていくことが、自ら学び続ける力を育むことにつながると考える。



教師は、一人一人の学習状況を見取り、子供の思いを具体的に引き出すことが大切である。適切な教師の言葉がけによって、子供は自ら学びのサイクルを繰り返し回すことができ、自ら学び続ける力を高めていくと考えている。

称賛の言葉がけ

<p>教師の見取り</p> <p>すぐに諦めちゃう子供がいるな。</p> <p>もっと安全に気を付けてほしいな。</p> <p>ずっと運動に取り組まない子供がいるな。</p>	<p>子供の姿</p> <p>やってみてもできなかったよ。もう嫌だ!!</p> <p>どンドンボールやフープを投げちゃえ!</p> <p>やりたい動きがないな。どうしようかな。</p>
<p>言葉がけ→子供の変容</p> <p>広いところを選んでいいね!</p> <p>何回もチャレンジしていいね!</p> <p>広いところで遊んだら安全なんだ! 周りをよく見て遊ぼう!</p> <p>わーい! できた!!</p> <p>何回も頑張ったらできたよ!</p>	

問いの言葉がけ

<p>教師の見取り</p> <p>上手になってきたから動きのこつを言語化させたいな。</p> <p>△△さんが〇〇さんと同じ動きに取り組んでいるぞ。</p> <p>もっと友達に目を向けて、子供同士で学び合ってほしいな。</p>	<p>子供の姿</p> <p>遊んでいたらボールを上手に捕れた!</p> <p>フープを上手に転がしたいけれどこつが分からないな。</p> <p>一人で遊ぶだけで楽しいな。こつも分かるよ。</p>
<p>言葉がけ→子供の変容</p> <p>子供同士をつなぐための問い</p> <p>〇〇さんがフープを転がしているよ。なんで上手に転がせているのかな?</p> <p>課題を解決するための問い</p> <p>どうやったら上手にボールが捕れるの?</p> <p>上手な友達に聞いてみよう! こつが分かるかもしれないぞ。</p> <p>ひざをぐっと曲げて、ボールを良く見たら、ボールを捕ることができたよ!</p>	

③子供自身が「学びのサイクル」を回すための学習過程

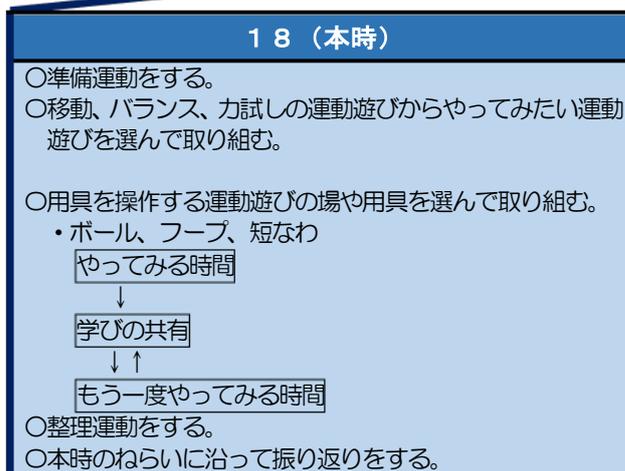
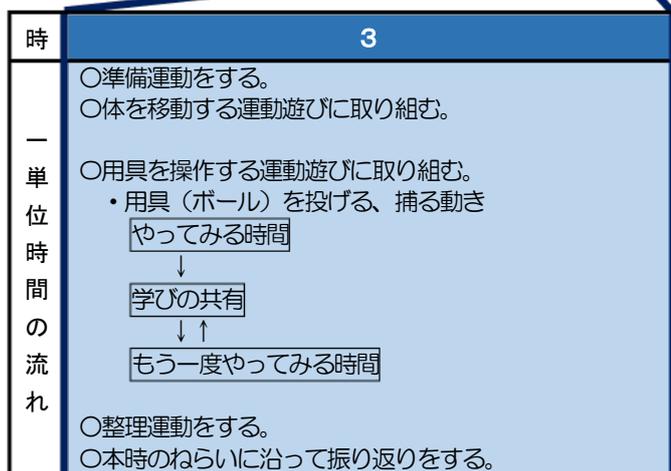
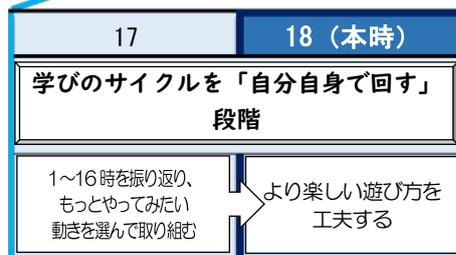
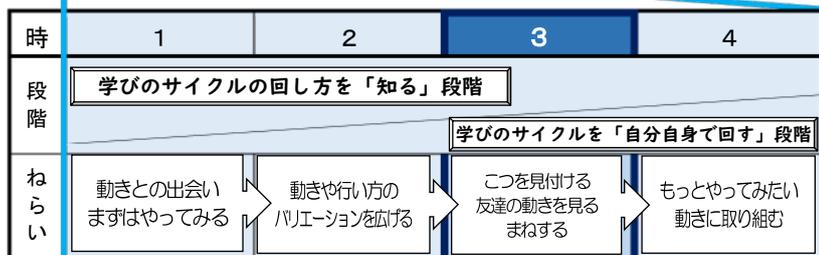
子供自身が「学びのサイクル」を回すことができるようになるために、低学年の2年間の学習過程で学びのサイクルの「回し方を知る」段階と学びのサイクルを「自分自身で回す」段階を経験する必要があると考える。また、小単元の学習過程でも「学びのサイクル」(やってみいたい→試行錯誤する→振り返る→もっとやってみいたい)を繰り返し回していくことが、子供の学び続ける力に結び付くと考える。以下の図は、2年間を見通した学習過程及び小単元、一単位時間の学習過程の例を示している。単元の内容配列(単元計画)については各学校、学級の実態に応じて入れ替え可能である。また、子供の学びの姿に応じて、毎時間のねらいも臨機応変に変更する必要もある。(令和5年度の資料参照)

第1学年

時	1~4	5~8	9~12	13~16
段階	学びのサイクルの「回し方を知る」段階		学びのサイクルを「自分自身で回す」段階	
学習内容	移動 【五歩鬼】 【陣取りじゃんけん】 【UFO】 用具【ボール】	用具【ボール】 ※ボールを持つ、つかむ、おろすなど 用具 【竹馬、長なわ】	バランス 【くるっとじゃんけん】 【幸せなら手をたたこう】 【人工衛星】 用具【フープ】	力試し 【引きずもう】 【俵返し】 【大根抜き】 用具【短なわ】

第2学年

時	1~4	5~8	9~12	13~16	17・18(本時)
段階	学びのサイクルの「回し方を知る」段階			学びのサイクルを「自分自身で回す」段階	
学習内容	移動 用具【ボール】	用具【ボール】 ※ボールを持つ、つかむ、おろすなど 用具 【竹馬、一輪車、長なわ】	バランス 用具【フープ】	力試し 用具【短なわ】	※やってみたい運動遊びを選択して取り組む 移動、バランス、力試し 用具【ボール】【フープ】【短なわ】



④楽しさの散りばめ

子供一人一人が学習課題を見いだすために、「やってみたい!」「できるようになりたい!」という運動欲求に火をつけるための仕掛けと考えている。そのために、一単位時間の中に本部会が考える「楽しさエキス」を散りばめていく。授業では、主に以下の4つの視点で、子供が夢中になって運動遊びや運動に取り組めるようにする。

- 1) 学習環境 (単元設定、場、用具、教材の工夫)
- 2) 学習に勢いを生む導入
- 3) 歌遊び
- 4) 合言葉

本部会が考える「楽しさエキス」についてもっと詳しく知りたい場合は、**「H29～R4 実証授業資料」**を参照。

1) 学習環境	2) 学習に勢いを生む導入
<p>【わくわくするような単元設定 掲示物の例】</p>  <p>※単元設定や掲示物などを工夫して、楽しい雰囲気をつくることで、子供の運動欲求に火を付ける。</p>	<p style="text-align: center;">心と体をスイッチオン!</p> <p>☆端的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で指示・説明 (運動量の確保) ・活動と活動のつなぎ (体じゃんけんの活用) <p>☆解放感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは先生と楽しく、色々な動きを楽しむ ・友達同士が関わる動き (2人組、ハイタッチ) <p>☆動きの要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンプ、スキップ、ダイナミックな動き <p>☆音楽・リズム太鼓等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BGMを活用した準備運動、場の準備・片付け等
3) 歌遊び	4) 合言葉
<p>「幸せなら手を叩こう」(座る・立つ)</p> <p>♪幸せなら手を叩こう ♪幸せなら手を叩こう ♪幸せなら 背中をつけようよ～ ♪ほらみんなでたって (すわって) みよう セーの! ※二人組で背中をくっつけたまま立ったり座ったりする。</p> <p>「人工衛星」</p> <p>♪人工衛星 人工衛星 と～ま～れ ※4～5人で手をつなぎ、引っ張り合って相手を動かす。</p> <p>※歌の中に身に付けさせたい動きを取り入れ、リズムの楽しさを味わいながら効率的に運動できるようにする。</p>	<p style="text-align: center;">いつでも どこでも だれとでも!</p> <p>☆活動に勢いをつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇へ レッツゴー!」 ・「やってみよう!」 <p>☆楽しい雰囲気のまま指示を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トントトン トントトン 聞いて」 ・「お友達を変えて ○人組」 <p>☆みんなで友達を称賛する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せ～の」 パンパン ナーイス!! ・「せ～の」 キラーン!!

(7) 本時の学習

①本時のねらい

○基本的な動きをして遊ぶことができるようにする。【知識及び運動】

○多様な動きをつくる運動遊びを選び、試行錯誤しながら取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

②本時の展開

学習内容・活動	○教師のかかわり ◎配慮を必要とする子供への支援	□評価（方法）			
<p>1 学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>①もっとやりたい遊びで 楽しもう！</p> </div> <p>2 準備運動をする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>発問 「どんな遊びをやってみたいかな？」</p> </div> <p>○曲に合わせて体を動かし、「心と体のスイッチオン」ができるようにする。</p>				
<p>3 「体のバランスをとる運動遊び」「体を移動する運動遊び」「力試しの運動遊び」の中からやってみたい運動遊びを選んで取り組む。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">力 試 し</td> <td style="padding: 5px;">バ ラ ン ス</td> <td style="padding: 5px;">移 動</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"><やってみる時間> ↓ <学びの共有> ↓↑ <もう一度やってみる時間></p>	力 試 し	バ ラ ン ス	移 動	<p>○運動遊びを選び、すぐに取り組んでいる子供を称賛する。</p> <p>○友達と一緒に運動遊びにすすんで取り組んでいる子供を称賛する。</p> <p>◎上手な友達の動きの真似を促したり、動きのこつを具体的に助言したりする。</p> <p>○運動遊びのグループごとに子供を集め、移動の仕方や人数を工夫している姿を共有する。</p>	<p>□やってみたい運動遊びを選び、「学びのサイクル」を回しながら取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】（観察・学習カード）</p>
力 試 し	バ ラ ン ス	移 動			
<p>4 「用具を操作する運動遊び」に取り組む。（ボール、フープ、短なわから選ぶ）</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">フ ー プ</td> <td style="padding: 5px;">短 な わ</td> <td style="padding: 5px;">ボ ー ル</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"><やってみる時間> ↓ <学びの共有> ↓↑ <もう一度やってみる時間></p>	フ ー プ	短 な わ	ボ ー ル	<p>○活動に入る前に、本時の学習のめあてや発問を再確認する</p> <p>○すすんで用具を選び、すぐに運動遊びに取り組んでいる子供を称賛する。</p> <p>○用具ごとに子供を集め、学びの共有をする。</p> <p>○本時のねらいに沿った子供の姿を紹介する。</p> <p>◎共有した内容の理解を深めるために、個別に言葉がけをして確認する。</p>	<p>□基本的な動きをして遊ぶことができる。【知識・技能】（観察・学習カード）</p>
フ ー プ	短 な わ	ボ ー ル			
<p>5 後片付け・整理運動をする。</p> <p>6 学習の振り返りをする。</p>	<p>○本時のねらいに沿った振り返りができるように、本時の発問を確認する。</p> <p>◎学習カードを書くために、取り組んだことを個別に言葉をかけて確認する。</p>				

(8) 学習資料

<シン・運動遊び例集>

昨年度に引き続き、シン・運動遊び例集の作成を行っている。実際に授業の中で活用することができるように、「バランス」「移動」「力試し」の運動（遊び）を視覚的にも分かりやすくなるよう、作成している。指導場面で使える言葉がけも併せて示しているため、ぜひ、たくさんの方にご活用いただきたい。下記のは、昨年度提案した例示の一つである。

バランス 移動 力試し

回る 寝転ぶ・起きる 座る・立つ バランスを保つ

1-④ 人工衛星

<ポイント>
○腰を落とす ○ひざを曲げる
○足に力を入れる ○ピタッと止まる
人数：5～6人

問い

- ・どうやったら動かないかな？
- ・自分は動かずに相手を動かすためには、どうすればよいかな？



称賛

- ・腰をぐっと落としていていいね！
- ・「人工衛星」を元気に言おう！



安全

- ・友達とギュッと手をつなごう。
- ・倒れそうなときは無理せず一歩前を出よう。

助・支

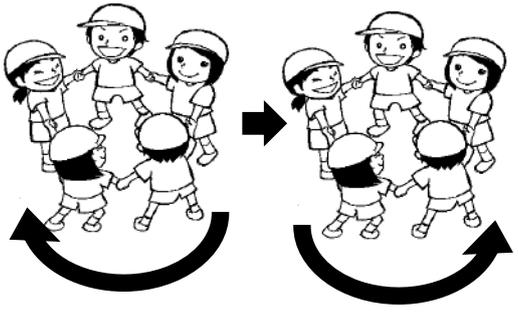
- ・膝をぐっと曲げて見よう。
- ・歌に合わせてジャンプしてみよう。





アレンジ

- ・反対に回ろう
- ・回らないでジャンプしよう





東京都小学校体育研究会 多様な動きをつくる運動（遊び）部会の研究資料

本部会では、子供たちが「楽しく基本的な動きを身に付ける」ことができるように、遊びを開発したり、授業改善を行ったりしています。いつでも新規部員を募集しています。ぜひ、一緒に研究をしませんか？

多様部会HPで、授業資料をUPしています。

東京都小学校体育研究会 多様

検索



多様部会
Google ドライブ
「資料配布」



本部会の研究
が全て HP に
アップされて
います！

【多様な動きをつくる運動（遊び）指導資料】



「H25・26 運動遊び例集」



「H27 言葉がけ動き例集」



「H28 宝の地図」



「H30 価値付けガイド」



「R1 授業ヒントシート」



「R1 多様ガイドブック」



「R4 ランドの地図」

「R5 シン・運動遊び例集」

※令和5年度に、大幅リニューアルを行いました。運動遊びを授業ベースで行うことができるように、一つ一つの運動例を図解するだけでなく、Youtube でも紹介するようになりました。令和6年度も、運動例を追加していきます！

【多様な動きをつくる運動（遊び）研究資料】

・研究内容「実証授業資料（H28～R5）」

※部会の研究内容をまとめたものとなります。研究の経過や継続している内容などもご覧いただけます。



東京都小学校体育研究会 多様な動きをつくる運動（遊び）部会

部長 武蔵野市立第一小学校 中本 隼介 E-mail shun.beck@gmail.com TEL 0422-22-1421